

2021 年度第 2 回定例理事会抄録

日時： 2021 年 5 月 22 日（土）13：00～16：38

方法： Zoom システムによる Web 会議

出席： 中村（会長）、香山、山本、宮口（副会長）、宇田、大庭、酒井、佐藤、清水、藤井、三澤（一）、村井（常務理事）、池田、岡本（佳）、小林、高島（千）、谷、谷川、三沢（幸）（理事）、太田、長尾、古川（監事）

陪席： 小賀野、長井、伊藤（委員長）、高畑（班長）、友田、穎川（内部 SE）、宮井、谷津、杉田、高島（紀）、茂木、庄司、遠藤（千）、霜田、大胡（事務局）、村松、山田、大野、亀井、竹内（日本ユニシス）、岩田、鴻巣（YSL ソリューション）、古野、小泉（ソア・システムズ）、後藤、磯（アーク情報システム）

I. 報告事項

1. 議事録

1) 2021 年度第 1 回定例理事会（4 月 17 日） 書面報告

2. 会長専決事項

1) 会員の入退会について 書面報告

2) 学術誌『作業療法』第 39 巻（2020 年）掲載論文の表彰について（宮口副会長・学術部長） 授賞論文は、各編集委員が持ち寄った推薦論文の中から、内容まで踏み込んだ慎重な合議で決定している。

3. 総務関連

1) 2021 年度定時社員総会の議事進行について（香山副会長・事務局長、長井総会議事運営担当） 電波状況の都合で会場を 7 階に変更し、議事進行等を一部変更した。

2) 2021 年度定時社員総会の配付資料について（香山副会長・事務局長） 特に協会の今後のあり方とシステム、事業報告、財務の追加資料を確認し、意見があれば出してほしい。

3) 2021 年度定時社員総会議案書に関する事前の質疑・意見について 書面報告

4. 学術関連

1) 第 57 回日本作業療法学会開催場所について 書面報告

5. 教育関連

- 1) 認定作業療法士新規取得要件の「他団体・学会等の認定資格（事例報告が要件となっているもの）」の追加について 書面報告
- 2) 研修会の事業内容の変更について 書面報告
- 3) 全国リハビリテーション学校協会主催の臨床実習指導者講習会について（山本副会長） 2021年4月7日にプログラムや開催概要、MTDLPの扱い等について意見交換を行った。

6. 制度対策関連

1) 令和6年度介護報酬改定に向けての新たな作業療法技術の評価に向けた取り組み（村井常務理事・制度対策副部長）

(1) 訪問における効果的な作業療法の提供についての検討とその効果検証（訪問プロジェクトチーム） 自立に向けた訪問における作業療法の提供方法とその効果について、今年度中にデータを集め、来年度に事例を取りまとめて、令和5年度早々に要望につなげたい。

(2) 介護老人保健施設等における集団プログラムの導入とその効果検証（集団プロジェクトチーム） 介護老人保健施設等に対し、集団プログラムの対象・目的・内容等の事例調査を行い、その効果を明らかにした上で要望活動資料を作成予定。

2) 科学的介護情報システム（LIFE）の説明会の開催について（村井常務理事・制度対策副部長） 科学的に効果が裏づけられた自立支援や重度化防止に資する質の高いサービスを推進したいという国の方向性のもと運用開始したLIFEについて理解を深める必要があり、その説明会を開催する。

7. 広報関連

1) 協会Webサイトのアクセスログ（2021年4月期） 書面報告

8. 国際関連

1) 2024年アジア太平洋作業療法学会実行委員会の組織図案について（大庭常務理事・国際部長） 実行委員会の組織図案を作成した。

9. 活動報告等

- 1) 会長及び業務執行理事の2021年4月期活動報告について 書面報告
- 2) 協会各部署の2021年4月期活動報告について 書面報告
- 3) 渉外活動報告について 書面報告
- 4) 他組織・団体等の協会代表委員について 書面報告

5) 日本作業療法士連盟活動報告(2021年4月~2021年5月)について 書面報告

6) 訪問リハビリテーション振興財団の動きについて 書面報告

10. 感染症対策:新・生活習慣普及促進研究会と新口腔ケア習慣の普及啓発について 書面報告

11. 管理運営研修における理事枠講義用資料について(香山副会長・事務局長、小林理事)
研修目的に合致した内容の、理事の誰もが使える標準的な資料を作成した。内容を適時適切に更新し、活用してほしい。

12. その他

(中村会長) JDの40周年記念誌を配付するので、障害関係がどう動いているかをよく見て、協会のあり方に反映させてほしい。

II. 審議事項

1. 2021年度以降のシステム開発の委託業者の選定について(香山副会長・事務局長、岡本(佳)理事) 4社から提案書が提出された。さまざまな観点から検討した結果、三役会としては日本ユニシス社を選定することを提案する。システム開発と新しい協会組織体制を推進するためには、年間7,000万円程度の経費を節減することが前提である。→承認

2. 永年会員制度の設計(修正案)について(香山副会長・事務局長) 永年会員の金銭的負担等に関する意見をいただき、制度の最終的な枠組みを構築して、次回もしくは次々回理事会で決定したい。→継続

3. 諸規程の整備について

1) 倫理委員会規程(改定案)(香山副会長・事務局長) 倫理委員会の任務、会議のあり方・事務局の設置等の運営方法を明文化した。また、委員会を理事会から半ば独立させた。→承認

2) 倫理問題の処理に関する規程(改定案)(香山副会長・事務局長) 倫理委員会に調査機能をもたせ、処分に至らぬ場合でも口頭注意等の処理が可能なことを明記し、不服申請があった場合は不服申請調査委員会を設置して再調査することとした。→承認

3) 会員の処分の種類に関する規程(改定案)(香山副会長・事務局長) 退会処分後の入会を「復会」ではなく「再入会」にし、譴責・戒告の方法を文書によることとして明確にした。→承認

4) 不服申請調査委員会規程(新規案)(香山副会長・事務局長) 新たな組織である不服申請調査委員会について必要な規定を整備した。→承認

5) 定款施行規則(改定案)(香山副会長・事務局長) 倫理委員会規程の改定で倫理委員会の任務がより明確に分節化されたので、それを業務分掌として明記した。 →承認

6) 日本作業療法学会優秀演題の表彰に関する規程(改定案)(宮口副会長・学術部長) 審査手続を明確にするため、必要な加筆を行った。 →承認

4. 倫理委員長及び倫理委員の選任について(中村会長) 倫理委員長・副委員長・委員として資料記載の方々を推薦する。 →承認

5. 生涯教育制度改革:10年目までのラダー作成について(藤井常務理事・教育部長、高畑生涯教育制度検討プロジェクト班(A班)長) 「10年目までのラダー」および事前に寄せられた質問への回答等について班内で検討した。 →承認

6. 2021年度定時社員総会直後の臨時理事会招集への同意について(中村会長) →承認

7. その他

総会での監査報告は古川監事が担当すること、臨時理事会終了後の懇談会は1時間の設定であることを確認した。

以上